

Swift言語を使用したiPhoneアプリの開発

情報科学研究室 4年 市毛美羽、江口知花

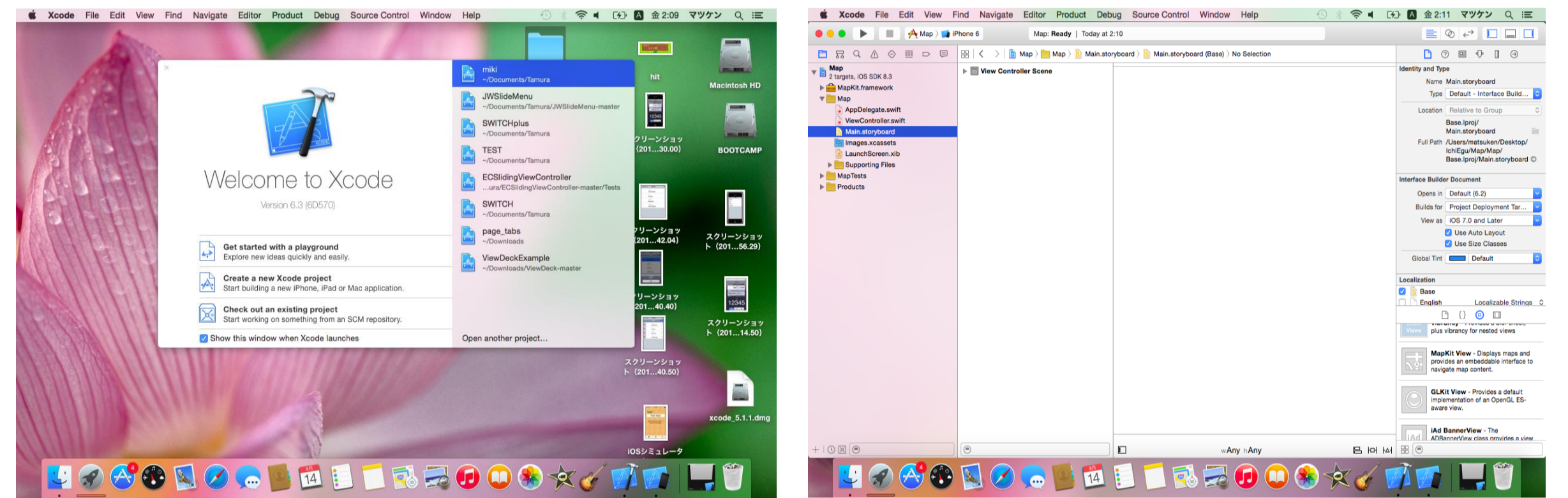
授業でプログラミングを学んでいた時、私たちのゲームアプリを制作したいと考えていた。そこで、松木教授に相談すると、比較的新しいApple社のSwiftという言語があることを教えていただいた。調べてみるとSwiftはC言語やObjective-Cよりも扱いやすく、多くの人々がアプリ開発できるようにしてあることがわかり、この言語を使ってiPhone用アプリを制作しようと考えた。

① iPhoneアプリ開発の流れ

- 企画:**
どのようなアプリを制作するのかを決める
- 開発:**
企画したアプリを制作する(プログラミング)
- テスト:**
アプリが正常に動くかテストする
- 公開:**
制作したアプリをApp Storeに公開する
- 保守:**
アプリのメンテナンスと、ユーザーのサポート

② 総合開発環境Xcode

Xcodeとは、Apple社が無償で提供しているiPhoneアプリを開発する際に必要なツールである。今回このツールを用いてアプリの開発を行った。

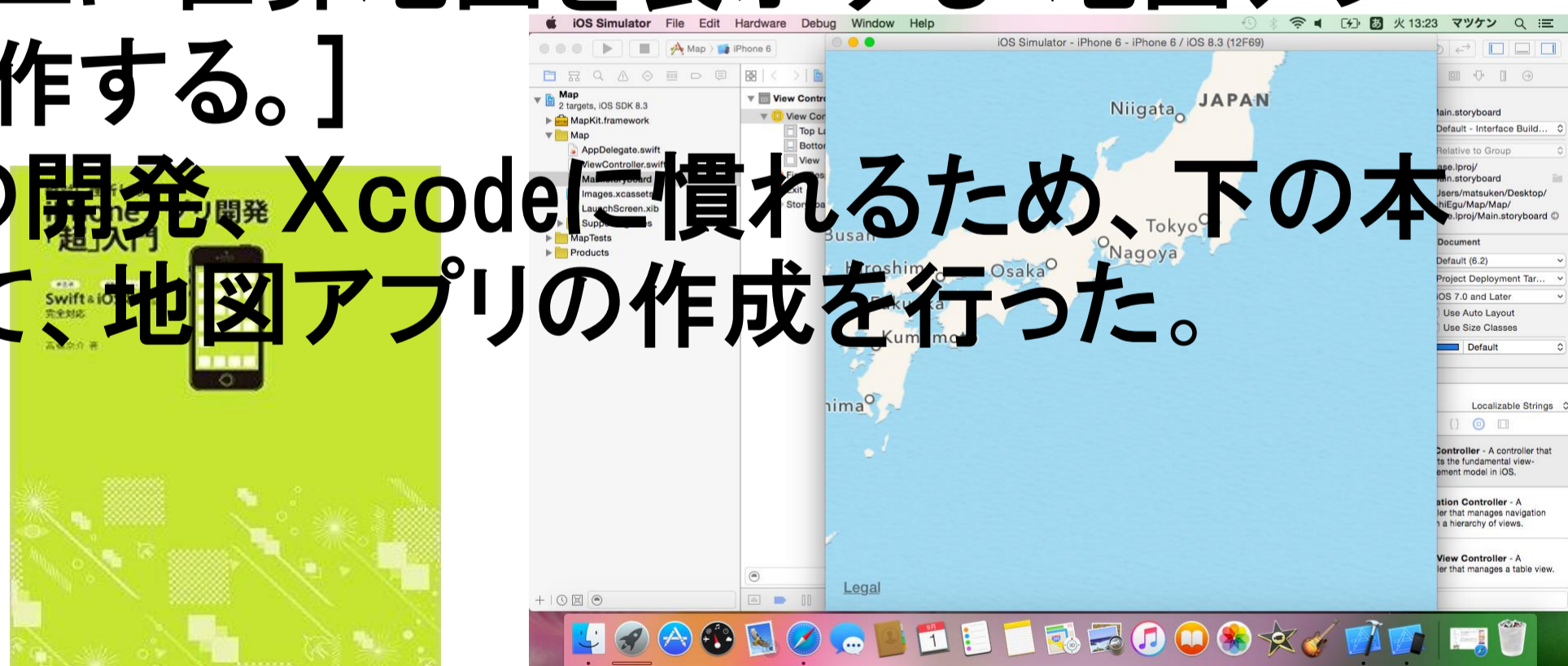


③ 地図アプリから学ぶiPhoneアプリの全体像

概要

[画面上に世界地図を表示する「地図アプリ」を制作する。]

アプリの開発Xcodeに慣れるため、下の本に沿って、地図アプリの作成を行った。



④ Swift言語とは

Apple社が発表した新世代プログラミング言語
iPhoneやiPadのようなiOSのアプリ開発やOSXのアプリ開発のためのインスタンス指向プログラミング言語

ツバメのように迅速なプログラミング言語だよ！



⑤ Swift言語によるゲームアプリの開発

概要

[Swift言語を使い、ゲームアプリ「FlappyBird」の開発を行う。]

「FlappyBird」とは操作自体は非常にシンプルで、画面をタップする操作しか行わないが、最高レベルに難しいゲームとして世界的に大ヒットしたアプリである。Swift言語を使うと開発できるということで今回開発にあたった。

完成!!

